



～学び 愛し 翔る 西郷小～

# 西郷富士



毎回 HP チェック  
有り難うございます！

西郷小学校

令和 2 年度第 47 号

令和 3 年 3 月 15 日

文責 校長 田中裕子

5 年生が参加した緊張感のある卒業式の練習

12 日は、5 年生が初めて参加しての練習となりました。大変緊張感のあるしまった時間でした。こうやって西郷小には良き伝統が伝わっていくのだとこちらも背筋が伸びる思いがしました。時と場を読み、自分がどう行動すべきかを考え実行できるところが素晴らしいです。

## 学びの集大成

12 日の午後、登校数残り数日と押し迫った中、6 年生による「がばいよか西郷の町づくり」の学習に関する発表会がありました。前日にそのことを知り、急とは知りつつも、市役所の柳川さん、前教育長の田代先生、民生委員の皆様にお声掛けさせていただいたところ、応援に駆けつけ、6 年生に励ましの声を送っていただきました。初めて取り組んだ自分で課題を決めて解決に取り組むという学習に、最初は難しさを感じていたようでしたが、やっていく中で手応えをつかみ様々な力を身に付けているように感じました。

### ①つながりの広がり

今回、課題を解決していくにあたり、人に頼むことが増えました。市役所の方にポスターを校外に掲示したいと依頼の手紙を書いたり、ゴミ削減ポスターを作り、それを地区の公民館に貼ってほしいとお願いしたりと、これまでつながりのなかった方々との関わりが出来ました。発表の中で、区長さんからの逆質問が難しかったと村上さんが言っていました。地区の方は子ども達のすることに興味をもたれ、応援したいのお気持ちの表れだと感じました。

また、市役所の柳川さんとなつなれたおかげで、今回の取組を高く評価していただき、最終的には市長様の一言で、市庁ホールでの展示と神崎市報 5 月号での特集まで決定し、子ども達の頑張りが形となったことを大変嬉しく思います。

### ②最後まで個でやりぬく力

今回は個人で課題を決めてやっていくというスタイルを取ったことで、自分の力でやりぬくという経験をする事となりました。発表はグループでということから一歩進み、「私の課題」への挑戦となりました。発表会では全員が何某かの発表をすることになり、緊張もしたことでしょうが、大勢の前でどの子も堂々と言えており、この取組が子ども達の成長をもたらしたことを確信しました。

### ③他者への気配り

最後の感想で田代先生も褒めてくださったのですが、皆が真摯に学んでいる姿に感銘を受けられたとのことでした。私も、子ども達が必死で鉛筆を走らせ、メモを取る姿に感心していましたが、誰一人邪魔することなく、最後の一人まで集中して聞いていました。他者への気配りが素晴らしく、これは 6 年生としてトップレベルと感じました。皆が学び合う集団になっていることは、一人一人の心が育っていることに他なりません。

15 日午後には、県教育委員会、東部教育事務所、市教育委員会からお見えになり、本研究についてご指導いただくことになっています。研究の 1 年目としての歩みと来年の研究の重点について協議をします。来週 22 日には、中川副小から先生方がお見えくださり、ESD について話をする事になっています。有り難いことです！西郷小の取組は、先月の佐賀市教育委員会でも紹介されており、SDGs の観点を入れた教育が広がりつつあるようです。



